

救急医療のしくみ

救急医療機関とは

- 「急を要する病気や、けがをしたときに対応する医療機関」です。
便利な時間外診療をするところではありません。
- 病気の程度や緊急性などによって、救急医療機関を初期、第2次、第3次の3つに分けています。
症状が軽い場合は、できる限り診療時間内に「かかりつけ医」に受診しましょう。
- 基本的には、まず初期救急(かかりつけ医、休日の場合は瀬戸旭休日急病診療所)で診療を受け、特別な処置や入院が必要な場合に、第2次、第3次救急の病院へ搬送されます。

救急医療体制

初期救急(第1次救急)：比較的軽症な場合

〈休日の場合〉

瀬戸旭休日急病診療所

診療日	診療科目	診療時間
日曜日、祝・休日 年末年始	内科、小児科	午前9時～正午 (受付：午前8時45分～午前11時30分)
		午後2時～午後5時 (受付：午後1時45分～午後4時30分)

診療所住所：瀬戸市西長根町7番地(瀬戸旭医師会館敷地内)

- ・国道363号線 長根交差点 東へ約150m
- ・駐車場：46台(うち車いす用2台)

瀬戸旭休日急病診療所 ☎ (0561) 82-9911

〈夜間・上記診療所の時間帯以外の急病やけがなどの場合〉

1. まずは、かかりつけ医にご相談ください。
2. かかりつけ医が不在の時は、救急医療情報センターへお問合わせください。

救急医療情報センター ☎ (052) 263-1133

あいち救急医療ガイド (<http://www.qq.pref.aichi.jp/>)



あいち救急医療ガイド

第2次救急

☆旭ろうさい病院

尾張旭市平子町北61

☎ (0561) 54-3131

第3次救急

☆公立陶生病院(救命救急センター)

瀬戸市西追分町160

☎ (0561) 82-5101

☆愛知医科大学病院(高度救命救急センター)

長久手市岩作雁又1番地1

☎ (0561) 62-3311

愛知県小児救急電話相談

☆休日などの夜間に、お医者さんにかかるべきか迷った時に、小児科医師・看護師などから、適切な助言が受けられます。

電話番号#8000をプッシュしてください。

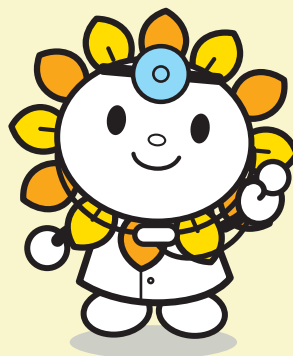
#8000が繋がらない場合は、

☎ (052) 962-9900

相談日	時間
365日 毎日	午後7時～翌朝8時

日頃できること

- ☆日頃から、子どもの様子を観察しましょう。
- ☆気軽に相談できるかかりつけ医を決めておきましょう。
- ☆できるだけ診療時間内に受診しましょう。
- ☆子どもの具合が急に悪くなった場合にどうしたらよいか、かかりつけ医と相談しておきましょう。



救急車を呼ぶとき

★救急車は、緊急を要する重症な人を搬送するための車です。

救急車の呼び方

☎局番なし「119」へ連絡！



★問いかけに、落ち着いて答えましょう

★119番に電話すると

▼例

① 火事ですか、救急ですか？

救急です



② 場所(住所)はどこですか？

尾張旭市〇〇町〇丁目〇番地
〇〇宅です
※目標物などあれば伝える

③ どうしましたか？

こどもがけいれんをおこして
意識がありません

④ おいくつの方ですか？
男性ですか、女性ですか？

3歳の男の子です

⑤ あなたのお名前と
電話番号は？

尾張旭太郎です
電話は〇〇一〇〇〇〇です

★普段何気なく使用している自宅の電話番号でさえ、とっさに言えないことがあります。電話の近くに、自宅の「住所・自宅付近の目標物・電話番号など」をメモしておきましょう。

住 所	
自宅付近 の目標物	
電話番号	
メ モ	
※家族の名前 生年月日など	

到着した救急隊に伝えること

- 具合が悪くなった時、けがをした時の状況
- 行った応急手当の内容
- 救急隊が到着するまでの変化
- 持病、内服薬、かかりつけ医などの情報

医療機関に持っていくもの

- マイナ保険証
- 飲んでる薬や、薬の名前がわかるもの
(お薬手帳など)
- 子ども医療費受給者証
- 病気の経過を書いたメモ
- 母子健康手帳
- こどもの靴(入院せず、帰ることもあります)
- 診察券(持っている場合)
- お金

☆着替えやおムツ、お気に入りのおもちゃなどを持っていくと便利です

心肺蘇生法

★適切な応急処置ができるように、普段から心がけておきましょう。

〈胸骨圧迫(心臓マッサージ)〉

心臓が動いていないとき

■乳児(1歳頃まで)の場合の処置



乳首と乳首を結んだ線の真ん中よりやや足側を指2本で押します。
(1分間に100回)

■小児(1歳頃から8歳まで)の場合の処置

乳首と乳首を結んだ線の真ん中を両手または片手の手のひらで押します。
(1分間に100回)



〈人工呼吸〉

※どの場合も、1回ごとに胸が軽く膨らむ程度に吹き込みます。

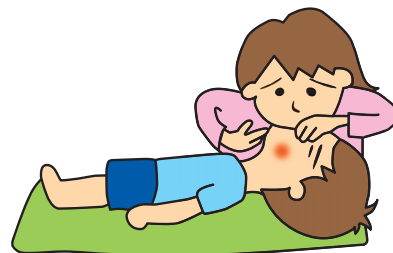
呼吸をしていないとき

■乳児(1歳頃まで)の場合の処置



口と鼻をおとなの口でおおい息を吹き込みます。
(1秒に1回)

■小児(1歳頃から8歳まで)の場合の処置



鼻をつまんで口に息を吹き込みます。
(1秒に1回)